

協働通信

市内7地区にある地域協働のまちづくり推進会(以下「推進会」)では、市民主体の住みよいまちづくりのために、多岐にわたる活動を行っています。

今回は、7地域の推進会役員が集まり、意見交換などを通じて各推進会活動のさらなる発展につなげていくための組織である地域協働のまちづくり推進会連絡会(以下「連絡会」)に関わる方々にお話を伺いました。



■谷内正章さん。昨年度、連絡会会長を務められました。任期を終えられた谷内さんに、昨年度の活動を振り返っていただきました。谷内さんは、盛里地域協働のまちづくり推進会の会長も務めています。

◆昨年度の連絡会を振り返ってみて

地域の取り組みの中に、大学生が活躍しています。大変うれしく思っています。が、まだまだ活躍の場はあると思います。私たちも、もっと交流をすすめる新しい視点、違う視点を取り入れることで活動の幅を広げて行けるのではと思えました。

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX(43)1322

また、災害時の無事・安全確認の『白色タオル運動』は定着しつつありますが、各家庭で常にタオルの準備をすることや、防災訓練のメニューに必ず取り入れるなどの工夫も今後必要ではないかと感じました。

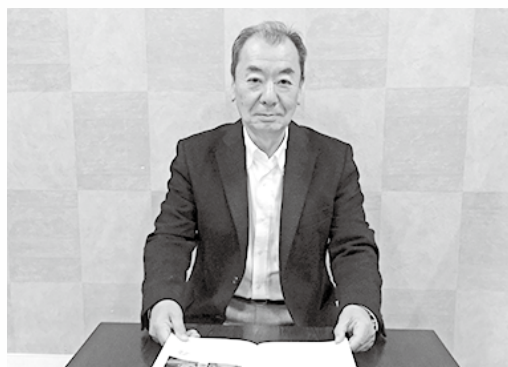
平成27年度に連絡会と板橋区町会連合会と住みよいまちづくりに向けて、情報交流会を行いました。規模こそ違いますが共通することも多く今後の取り組みの参考にしたと思います。

◆地域のみなさんへ一言

協働のまちづくりは、各地域が特色を生かし活動を行っています。地域の活性化のためにも、役員任せでなく地域の活動に参加していただき安全で安心なまちづくりにご協力をお願いします。



■白色タオル運動
家庭の無事を知らせるサインです



■渡邊厚さん。谷内正章さんを引き継ぎ、連絡会会長を務められています。渡邊さんは、宝地域協働のまちづくり推進会の会長も務めています。

◆連絡会会長としての今後の抱負について

地域で様々な役員をやらせてもらっている経験で、連絡会会長としての仕事でも役立たせたいと思います。

推進会の活動に、少しずつではありませんが、都留文科大学の学生が参加してくれています。連絡会会長として、大変ありがたく思っています。学生のみなさんには、最初は気軽な気持ちで地域の行事などに参加してもらい、地域のことについてもっと知ってもらいたいと思います。地域の様子を知ることが、まちづくりの第一歩だと思うので、少しずついいから、まちづくりに関わってもらえたらと思います。全国から来ている学生も多いので、私たちが今まで気づかなかつた目線で都留市のまちづくりを見ることができると思っています。そういった、新しい視点を取り入れることによって、私たち連絡会の活動の幅を広げていきたいと思えます。

また、災害発生時に、「我が家は無事

です」という意思表示として『白いタオル』を玄関前など誰もが見える場所に掲げる活動が地域住民のみなさんに浸透しつつあります。今回の『白いタオル』を活用した安全確保の取り組みにより、私たち連絡会は、7地区一体となり、地域住民の皆さんに対して安心して安全な生活を提供していきたいと思えます。

◆推進会の事業を行う上で大切にしていることは

私たち各推進会では、環境美化活動や健康づくりウォーキングなど様々な活動を行っています。しかし、地域住民の中には各推進会の活動を知らない方や興味を持たれていない方がおります。そのため、各地域の特色を取り込んだ活動内容にすることが求められているのではないかと思います。

また、今は共働き世帯がほとんどなので、休日に活動を実施するなどの取り組みが求められています。子どもが参加できるイベントだと、その両親や祖父母も加わり参加者が増えるので、参加者の方々に楽しんでもらえるような活動を、これからも、心がけていきます。

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひるば「10年の思い出」

日時 3月30日(木)

13時30分～15時30分

場所 まちづくり交流センター3階

多目的ルーム

問合せ まちづくり交流センター

☎(43)1321